

# 歯っぴースマイル

Vol.5 平成16年9月20日発行

発行所 社団法人 東京都目黒区歯科医師会

目黒区中央町2-13-11 電話 03-3719-8201

ホームページ <http://www.meguro-dental.or.jp>

## 皆さまのパートナーとして

介護保険も5年目に入り、皆様の生活や話題の中にも登場する機会が増えてきたようにも感じます。特に、目黒区では他の地域と比べてサービスの充実度は高く、区民の皆さまのご理解はもとより、区の職員、並びにサービス事業者の方々のご努力には並々ならぬものがあると思っております。

目黒区歯科医師会では、16年前より「寝たきり者在宅歯科診療」事業を継続し、歩行困難となられた患者さんのお宅に赴いて歯科治療をしてまいりました。

それ以前は、診療器具が運べないなどの理由から、在宅での歯科診療は不可能というイメージが根底にあったのですが、区行政との相談協力のもとに試行錯誤を繰り返し、やっと現在の体制を整え在宅歯科診療を可能なものにすることができました。

その上、都立病院、国立医療センター、その他高次医療病院との密接な医療連携を進め、さらに、平成13年には区行政と共に「八雲あいアイ館歯科診療所」を開設しました。現在では障害者歯科診療の中心として、また都内のモデルケースとして他区よりの見学も後を絶たない状況になっています。

しかしながら、こうして初期の段階での役割を終えた「寝たきり者在宅歯科診療」は今年度を持って終了することになっています。

そして、来年度からはさらに機能の推進を図るため、「かかりつけ」「連携」「在宅健診」「口腔ケア」をキーワードに、「寝たきり者在宅歯科診療」で培ったノウハウを生かして、新しい事業を展開すべく区行政との話し合いを続けております。

今までの治療だけに焦点をおいた医療から、生涯にわたり豊かな生活を送っていただくために『健康状態を維持していくこと』を目的とした医療に視点を変え、今後とも私たち目黒区歯科医師会は区民の皆さまのパートナーとして歩んでいきたいと思っております。

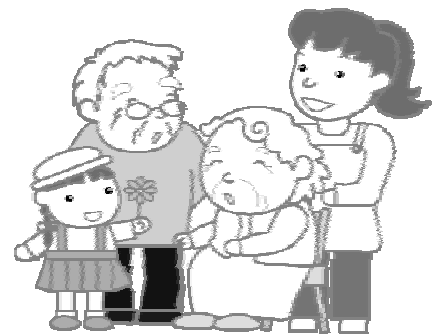
## 「八雲あいアイ館歯科診療所」のご案内

障害をお持ちで一般の歯科医院での対応が困難な方の口腔保健向上のために、「障害者手帳」もしくは「愛の手帳」をお持ちの方を対象として、八雲あいアイ館歯科診療所はスタートしました。

当診療所では、目黒区歯科医師会の所定の研修を受けた歯科医師が担当医として治療や指導に当たっています。

当診療所は、「いつでも、どこでも、誰にでも、良質の医療を提供する」、また、利用される方に対して「口腔の健康管理や口腔機能の発達援助を通じて、日常生活動作の獲得や社会生活への参加を援助し、障害の軽減克服とQOLの向上を目指し医療を行う」ことを目標として現在まで運営されてきました。

障害があるために一般の歯科医院での診療が困難な方の中には、「一体、自分たちはどこに行けばよいのだろうか?」と悩まれている方もまだまだいらっしゃるようです。これをご覧になった方の中で、そういう悩みをお持ちの方をご存知であれば、是非当診療所をご紹介ください。



八雲あいアイ館歯科診療所

〒152-0023 目黒区八雲1-1-8 あいアイ館

TEL.03-5701-2495(直通) FAX.03-5701-2498

ホームページ <http://www.meguro-dental.or.jp/aiaikan/>

## 「特別養護老人ホーム」でも活躍しています

目黒区には区の運営している「特別養護老人ホーム」が中目黒・東山・東が丘の3ヶ所にあります。入居されているのは重度の障害をお持ちの方や痴呆の方です。

目黒区歯科医師会では会員の歯科医師が定期的に施設を訪問し、むし歯の治療や入れ歯の製作・調整などを行なっています。

また、施設の職員さんたちは入居者の食事・排泄・入浴・着替えなどのお世話でとても忙しく手一杯の状態にあります。そこで、口腔ケア(歯ブラシなど)のお世話は、私たち歯科医師の大切な仕事の一つになっています。口腔ケアをしっかりすることによって、今問題になっている誤えん性肺炎などの様々な感染を未然に防ぐことができることも分かってきています。

施設で診療するにあたり、会員の歯科医師は障害者歯科診療を行なっている「八雲あいアイ館歯科診療所」で特別な研修を行なっています。

衣・食・住は、人間らしい生活をしていく上で大切なことです。私たち歯科医師は、入居者の方がより良い「食」生活を送って頂けるようお手伝いができればと思っています。

### 豆知識 (誤えん性肺炎について)

日本人の肺炎による死亡率は、死因別に見て第4位です。その内、92%が65歳以上の高齢者で70歳を越えると急に増加します。(加齢によるものではなく、種々の疾患によるためと考えられます。) えん下機能(飲みこみ)が悪くなり、咳の反射が障害されていると、唾液、飲食物、逆流した胃の内容物が気道(肺のほう)に入り吸い込まれてしまう。もっとも注意すべき点は、不顕性誤えん(はっきりした“むせ”などの症状がないまま起こる誤えん)です。これは、唾液や逆流した胃内容物を眠っている間に少しずつ気道に吸い込んで起こすものです。口腔ケアにより高齢者の肺炎を予防することが大切です。

## 目黒区歯科医師会で行っている地域医療活動

### 成人歯科健診

毎年6月から11月の間に実施しています。

目黒区から40才、45才、50才の皆様には「受診券」をお送りしています。お近くの会員の歯科医院に「受診券」をお持ちくだされば、無料で歯科健診を受けていただけます。

### 妊婦歯科健診

妊婦の皆様には母子手帳と共に「妊婦歯科健診のご案内」をお渡ししますので、目黒区役所の健康推進課(03 5722 9583)に「受診票」をご請求ください。

妊娠5ヶ月から8ヶ月の間に、お近くの会員の歯科医院に「受診票」をお持ちくだされば、無料で歯科健診を受けていただけます。

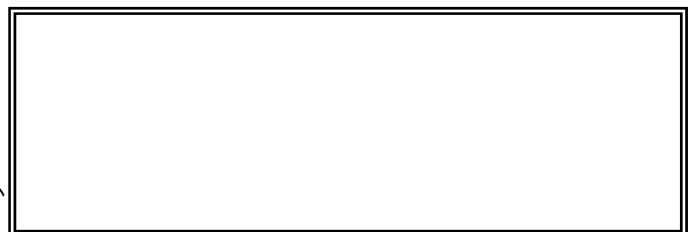
### 休日歯科診療

毎月第3日曜日は「八雲あいアイ館歯科診療所」にて、その他の休日は会員診療所が輪番で担当しています。当番診療所については、歯科医師会のテレホンサービス(03-3719-8204)と、目黒歯科医師会ホームページ <http://www.meguro-dental.or.jp> にてご案内しています。

### その他の事業

- ・八雲あいアイ館歯科診療所
- ・在宅歯科診療・フッ素塗布 etc

詳細は、目黒区歯科医師会(03-3719-8201)に、



お気軽にお問い合わせください。